

色々な桜が咲き誇る美しい桜回廊

今回植樹される桜の品種は5種類。少しずつ咲く時期が異なるため、長く楽しんでいただけます。中には、市内で見つかった「ミヤビザクラ」という品種があり、その桜に詳しい造園業協会会長の内田さんにお話をうかがいました。

末永く皆さんの憩いの場になってほしいですね



さいたま市造園業協会 会長
内田 香さん

見沼たんぼ周辺では江戸時代初期から、苗木の生産が盛んに行われてきました。「プリンセスミヤビ(通称:ミヤビザクラ)」は、昭和60年頃にさいたま市緑区の見沼たんぼ内で発見されました。一般的な桜の品種として知られている吉野桜よりも咲く時期が少し早く、そして色の濃い花をつける小ぶりな桜であることが特徴

です。その後、苗木商たちの手で接ぎ木による増殖が始まり、平成5年には皇太子妃雅子さまのご成婚を記念して、「プリンセスミヤビ」と名付けられました。美しい桜をより多くの皆さんに長く楽しんでいただき、この桜回廊がさいたま市の新たな魅力となっていくことを願っています。



▲可憐に咲くプリンセスミヤビ

協働でつくる“絆”のシンボル見沼たんぼ

市だけではなく、多くの方々の協力でされる今回のプロジェクト。本プロジェクトのイメージイラストも描いている、「見沼たんぼ見どころガイド」市民リポーターの植木さんにお話をうかがいました。

満開の桜のもと見沼代用水路の散歩はワクワクします



「見沼たんぼ見どころガイド」市民リポーター
植木 秀視さん

20km超に渡る桜回廊、そこで桜祭りやイベントなどがあると楽しみです。桜や野草の植物園もできることを期待します。多数の観光客や車、自転車などの混雑が気になりますが、この桜とともに緑広がる田畑や寺社など自然と歴史が織りなす見沼たんぼは、より生きいきとした貴重な景域になると思います。

またイラストですが、鳥になり東の上空から西に向かって眺める風景をイメージしました。見沼代用水西縁を軸に桜回廊を描き、その先に新都心のビル、まわりにピンク・きいろ・きみどりなどの春色を散らして、秩父連山を遠景として置きました。

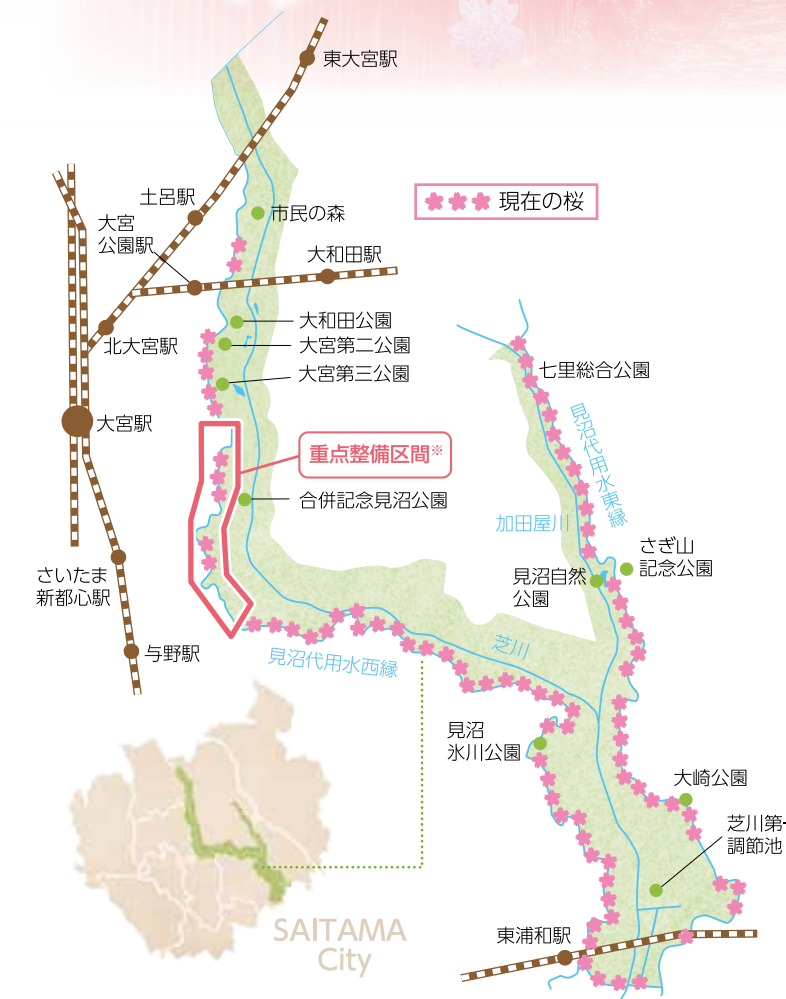
植木さんによる桜回廊のイメージイラスト▶



サクラサク 見沼たんぼ プロジェクト

目指せ!

日本一の桜回廊



皆でつくる憩いの空間

春になると市内のあちこちをピンク色に染める、さいたま市の花木「桜」。このたび見沼代用水の西縁・東縁にある約2千本の桜並木に新たな桜の苗木を植樹し、総延長20km超の「日本一の桜回廊」をつくろうというプロジェクトが発足しました。このプロジェクトでは、桜に囲まれた自然豊かな魅力ある空間づくりを進め、地域の活性化

につなげていきたいと考えています。また、苗木の寄附や寄附金を募り、市民の皆さん、各種団体企業の方々とともに力を合わせてつくり上げることで、「絆」のシンボルにもなればと思っております。そして、さいたま市の名所として広く知られる自慢の桜回廊に育ってほしいと願っています。

※ 本プロジェクトで重点的に防護柵の改善や、桜回廊散策路等の整備を行う場所。

寄附・募金のご協力について

さいたま市の新たな魅力となる「日本一の桜回廊づくり」実現のため、皆さんからの寄附金を募集しております。詳しくは下記お問合せ先にご連絡いただくか、公益財団法人 さいたま市公園緑地協会のホームページ内の寄附金をお願いをご覧ください。

- 個人 一口 500円～
- 企業団体 一口 5,000円～

公益財団法人 さいたま市公園緑地協会
〒336-0021 さいたま市南区別所4-12-10
TEL:048-836-5678 FAX:048-836-5200
E-MAIL:sakurasaku@sgp.or.jp
URL:http://www.sgp.or.jp/
[検索手順]さいたま公園ナビ▶寄附金のお問い合わせ▶特定寄附金「日本一の桜回廊づくり寄附金」

